



こうえきざいだんほうじん ひめ じ し ぶん か こくさいこうりゅうざいだん しゅさい
公益財団法人 姫路市文化国際交流財団 主催

にほんご りょうり きょうしつ
日本語ひろば 料理教室



にほんしょく

日本食でおもてなし！

さけ ずし
鮭のちらし寿司

なつやさい てん
えびと夏野菜の天ぷら

たなばた じる
七夕そうめん汁

あんみつ

りょうり し どう ひめじ かい
料理指導：姫路いずみ会

ぶん にほんご ぱんの
～文：日本語ボランティア 伴野さん～





へいせい ねんど りょうりきょうしつ ひめじ かい みな
平成30年度の料理教室が姫路いずみ会の皆さんのご

しどう がつ にち にち
指導のもと、7月22日（日）にイーグレひめじの料理室で

おこな こんかい こんだて さけ ずし なつ
行われました。今回の献立は、鮭のちらし寿司、えびと夏

やさい てん たなばた じる なつ
野菜の天ぷら、七夕そうめん汁、あんみつです。どれも夏ら

すず しょくよく ないよう
しく涼しげで食欲をそそる内容でした。

1班5~6人で、5つの班ができました。同じ班の学習者さんとは顔見知りの人もいますが、

ほとんどのはつかおあ わたし はん じん じん くに
ほとんどは初顔合わせでした。私の班では、カナダ人、ベトナム人、インド人とお国もいろいろ

げんごのうりょく りょうり わ わた
ろでした。言語能力も料理のレベルも分かりません。レシピを渡すと、みんな表情がかたく

かた た いた たまご
なりました。「ごはんを硬めに炊く」、「きゅうりを板づくり」、「卵をわりほぐす」、「あくを抜く」…。

にほんじん ふつう つか りょうり ようご りかい
日本人なら普通に使っている料理用語が理解できません。レシ

よ せつめい かん
ピを読みながら、説明すると、「ふん、ふん」という感じになりました。

まいにちりょうり ひと ひと てん あ はじ
毎日料理をする人、しない人、もちろん天ぷらを揚げるのが初めての人もいます。初

ひと はじ すこ しんぱい
が、いずみ会の方に助けられて、なんとか完成しました。



はいぜん きぶん
きれいに配膳もできて、なんだかパーティー気分でした。



しょくじじゅう くに しょくしゅうかん しょくじ
食事中はそれぞれの国の食習慣から食事の

かた みぎて ゆび た
マナー(インドの方からは、右手の指でつまんで食べる

た かた おし ため
る食べ方を教えていただいて、みんなで試しました。)

くに げんご たようせい かいわ はず あさ
その国の言語の多様性についてまで、会話も弾み、朝

ひょうじょう かんしょく
のあの表情はどこへやら。みんな完食でした。

ひと ひと ひと
カナダの人、ベトナムの人、インドの人が日本語

げんご かい いし そつう ことば ちから すば しょくじ ひと こころ
という言語を介して意思の疎通をはかれるという言葉の力の素晴らしさと、食事とは人の心

なご かん
を和ませてくれるありがたいものということをつくづく感じられずにはいられませんでした。

じつ わたし ひめじ かい いちいん ちいき しょくいくすいしんかつどう たずさ
実は、私も姫路いずみ会の一員として地域の食育推進活動に携わらせていただいており

きょう しどう う がわ こんご にほんご りょうりしどう たんとう ばあい
ます。今日は指導を受ける側から今後「日本語ひろば」のような料理指導を担当した場合に、ど

はいりょ まな きかい おも
のようなどころに配慮しなければならないかを学ぶ、よい機会でもあったと思います。

くに しょくしゅうかん はいりょ こんだて た じゅんび かい みな
いろいろな国の食習慣に配慮しながら献立を立て、準備をしていただいた、いずみ会の皆

かんしゃ おも
さんに感謝したいと思います。

ありがとうございました。

